

取扱説明書 もくじ

はじめに 1

1章 本製品の準備 5

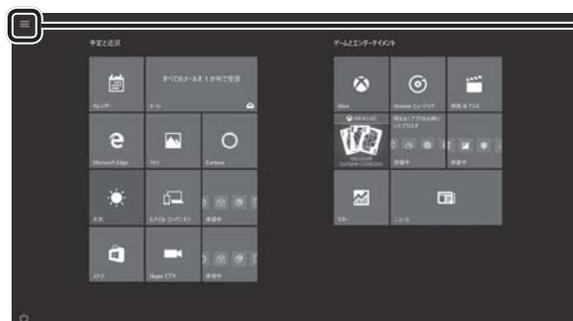
- 1 使う前に確認する 5
- 2 各部の名称 - 外観図 - 6
- 3 Windows を使えるようにする 9
- 4 電源を切る / 入れる 19
- 5 デジタイザーペンの取り付け / 取りはずしとポインタ位置調整 23

2章 インターネット / 困ったときは 25

- 1 インターネットを使うには 25
- 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
- ウイルス・インターネットセキュリティ - 28
- 3 有害サイトの閲覧 (アクセス) を制限する 30
- 4 困ったときは - トラブルを解消するまでの流れ - 31
- 5 Q&A 集 32
- 6 本製品の調子がおかしいときは 38
- 7 本製品を初期状態に戻す - リカバリー - 39
- 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする 48
- 9 捨てるとき / 人に譲るとき 49
- 10 アプリケーションのお問い合わせ先 53
- 11 サービス & サポートのご案内 56
- 12 ご使用にあたってのお願い 65
- リカバリーチェックシート 68

詳しい使いかたは、『オンラインマニュアル』で説明しています。

本書では、本製品に用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『オンラインマニュアル』内の『活用編』で説明しています。『オンラインマニュアル』は、次の手順で起動できます。



① スタートメニューの左上の  をタップ

* スタートメニューに表示されるアプリケーションは、モデルや使用状況によって異なります。

(表示例)

② [すべてのアプリ] → [オンラインマニュアル] をタップ

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows または Windows 10

Windows 10 または Windows 10 Pro を示します。

MS-IME

Microsoft IME を示します。

Office 搭載モデル

Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス、Office Personal Premium プラス Office 365 サービス、Office Home & Business 2016、Office Personal 2016 のいずれかをプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth[®] 機能搭載モデル

Bluetooth[®] 機能を搭載しているモデルを示します。

デジタイザーペン付属モデル

デジタイザーペンが付属しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook * * * *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

4 Trademarks

- Internet Explorer、Microsoft、Skype、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 お願い

- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。
有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
また、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
ウイルスチェックがまったく行われなくなる状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化/消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝PC保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録 (ユーザー登録) をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

6 本書の記載について

■ タブレットモードについて

Windows 10では、「タブレットモード」がONかOFFかによって、表示される画面や操作方法が異なります。

<タブレットモードが「ON」の場合>



(表示例)

<タブレットモードが「OFF」の場合>



(表示例)

● タブレットモードのON/OFFを切り替える

- ① 通知領域の  アイコンをタップする
- ② [タブレットモード] () をタップして、ON/OFFを切り替える
[タブレットモード] をタップするたびに、ON/OFFが切り替わります。
ONになると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。
OFFになると、アイコンがグレー表示されます。

■ 本書では

- ・「タブレットモード」をONに設定して操作する手順を説明しています。
- ・画面に指でタッチして操作する手順を説明しています。
デジタイザーペン付属モデルの場合、一部、デジタイザーペンでのタッチ操作が、指でのタッチ操作と異なります。

お願い

■ 外観図について

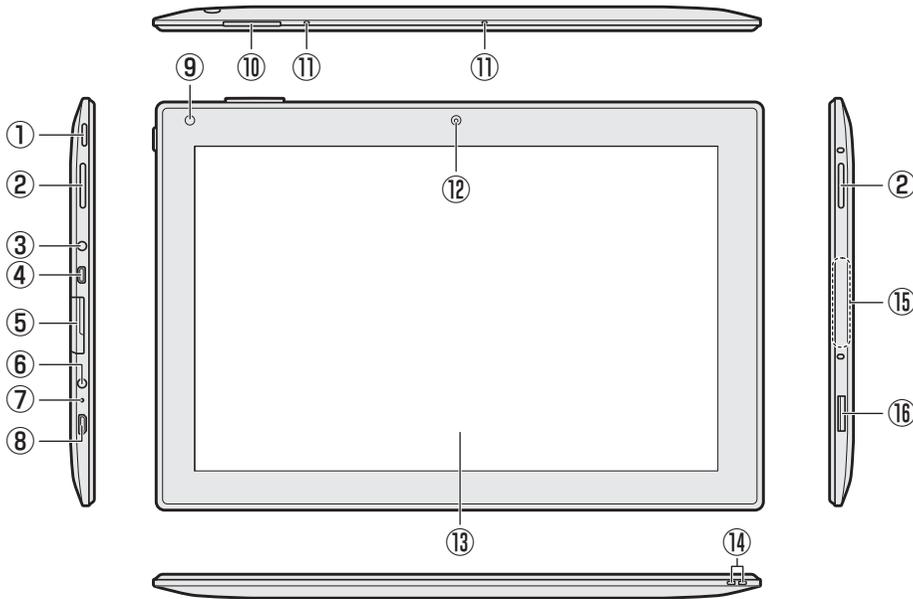
- 本製品に表示されているコネクタ／スイッチのマーク（アイコン）などは最大構成を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

■ 外観について

- 本製品には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

* Windows 10 Proの場合のみ

1 前面図



① 電源スイッチ

② スピーカー

③ ヘッドセット/ヘッドホン端子

ヘッドセットやヘッドホンを接続します。

④ HDMI HDMI[®] (micro) 出力端子

HDMI[®] (micro) ケーブルを接続して、HDMI[®]入力対応機器(テレビ、外部ディスプレイなど)に本製品の映像を表示します。

⑤ microSD カードスロット

microSD メモリカードをセットします。

⑥ 電源コネクタ

⑦ バッテリー LED

バッテリーの充電状態を表示します。

参照 『活用編 5章 1 - 1』 バッテリー充電量を確認する』

⑧ microUSB コネクタ

USB 対応機器を接続します。

USB2.0規格に対応しています。

⑨ 照度センサー

この部分に本体ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。照度センサーをふさがないでください。正常に調整されない場合があります。

⑩ 音量ボタン

音量を調整します。

⑪ マイク

⑫ Webカメラ

⑬ ディスプレイ (画面)

⑭ ストラップホール

⑮ 型番

型番が記載されています。

⑯ ペンホルダー

* デジタイザーペン付属モデルのみ

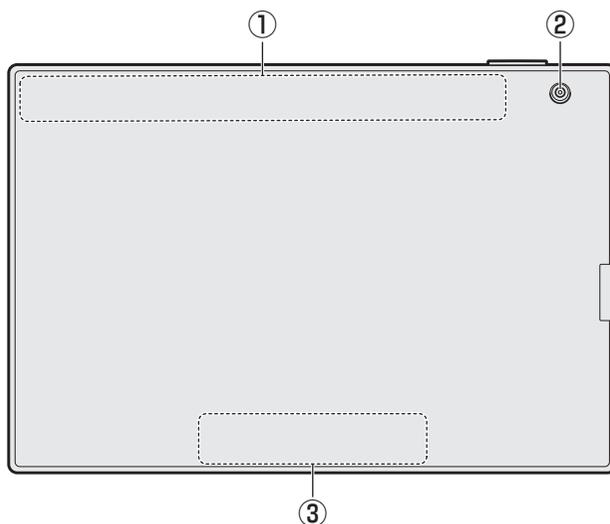
参照 デジタイザーペンの取り付け/取りはずし

「1章 5 - 1」ペンの取り付け/取りはずし」

2 背面図

1 章

本製品の準備



① この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。

② Webカメラ

③ 製造番号

製造番号が記載されています。

※ バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用するお客様ご自身での取りはずしや交換はできません。寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 **11** サービス&サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い 本製品の取り扱いについて

■ 本製品のメモリについて

- 本製品はメモリの増設が行えません。

■ 画面/スイッチ/ボタンの操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「2章 **12**- **1** 本体について」、「2章 **12**- **2** 本体ディスプレイについて」

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「2章 **12**- **1** - 機器への強い衝撃や外圧について」

1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、本製品をできるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップを開始する前に、本製品に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。

電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、本製品の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。

セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にタッチキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。

1 電源コードとACアダプターを接続する

警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する

本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。

また、付属のACアダプターを他の製品に使用しないでください。

- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する

順番を守らないと、電源コードのプラグが帯電し、感電またはけがをすることがあります。また、電源コードのプラグを本製品の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

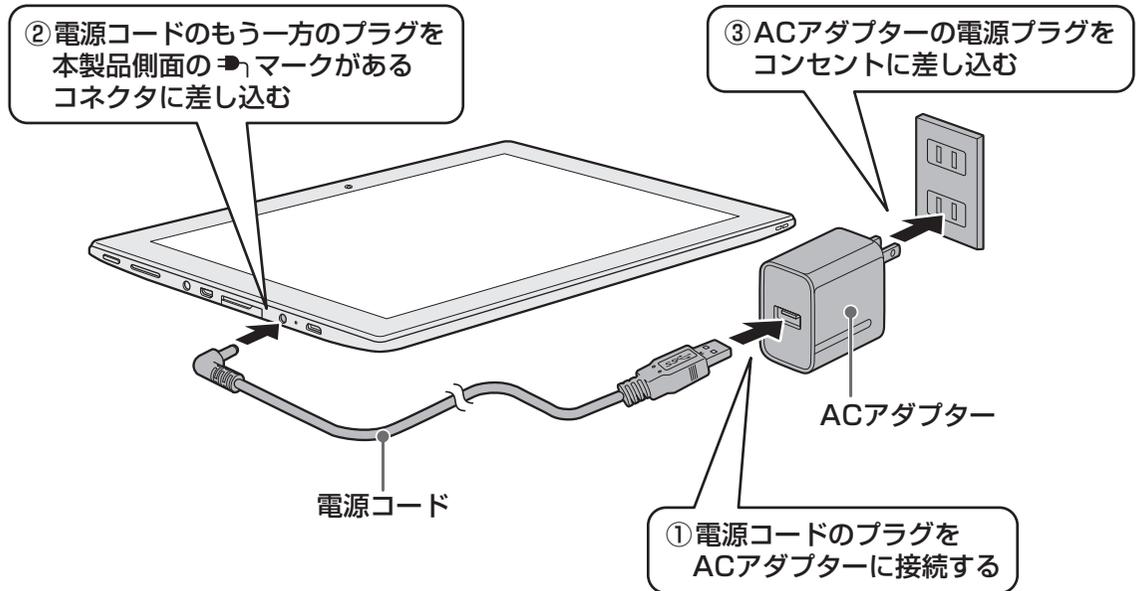
お願い 電源コードの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 12 - 3 電源コードの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。

初めて電源を入れるときには、電源コードとACアダプターを接続してください。



接続すると

バッテリーLEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。バッテリーLEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 ▶ バッテリーLED『活用編 5章 1 - 1 - 1 バッテリーLEDで確認する』

メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

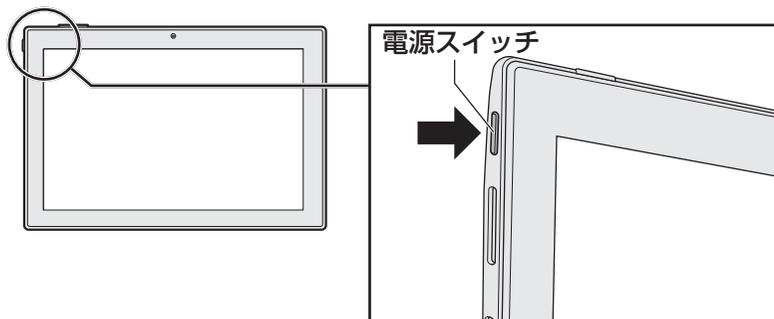
2 電源を入れる

お願い 電源を入れるときは

- ディスプレイ（画面）に触れたまま電源を入れしないでください。ディスプレイ（画面）が一時的に反応しない場合があります。

1 電源スイッチを押し、ロゴが表示されたら指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。



メモ

- 本製品のバッテリー充電量が足りない場合、電源スイッチを押しても電源が入りません（画面中央に、[バッテリー] アイコンに「！」が付いているものが表示されます。また、完全にバッテリーが空の状態では、画面に何も表示されません）。この場合は、本製品をコンセントに接続したまま、しばらくお待ちください。本製品のバッテリーが充電されますので、その後に電源スイッチを押してください。

これで本製品の準備は完了です。続いてWindowsのセットアップに進みます。

3 Windows のセットアップ

セットアップには約10~20分かかります。

1 章

本製品の準備

1 ライセンス条項の内容を最後まで確認し、[承諾する] をタップする



[接続する] 画面が表示された場合は手順 **2** に進んでください。

[すぐに使い始めることができます] 画面が表示された場合は手順 **3** に進んでください。

2

無線LAN (Wi-Fi[®]) の設定を省略するので、[この手順をスキップする] をタップする

無線LAN機能を使ったインターネットへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。



[すぐに使い始めることができます] 画面が表示されます。

3

[簡単設定を使う] をタップする

本製品を使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。



[このPC用のアカウントの作成] 画面が表示されます。

1章

本製品の準備



次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、本製品がユーザーを識別するための名前です。必ず入力してください。次の手順で入力するユーザー名は、管理者として識別されます。管理者は、ネットワークや本製品を管理する権限があります。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

4 ユーザー名を入力する

[ユーザー名] 欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

「dynabook」と入力するときは、タッチキーボードで **d y n a b o o k** と入力します。



■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

**次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは**

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をしなくてはなりません。その場合、購入後に本製品に保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

5 パスワードを入力する

[パスワードを入力してください] 欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力を間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

[もう一度パスワードを入力してください] 欄に、手順 **5** で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。



次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

1章

本製品の準備

7 パスワードのヒントを入力し、[次へ] をタップする

[パスワードのヒント] 欄に、自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

[情報提供・サービスのご案内] 画面が表示された場合は手順 **8** に進んでください。本製品を準備している画面が表示された場合は、手順 **11** に進んでください。

8 ウィルスチェックソフトを使用するかどうか選択する

安全に本製品を使用するために、ウィルスチェックソフトの使用を強くおすすめします。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」を使用する場合は のまま、「ウイルスバスター クラウド™」を使用しない場合は をタップして にしてください。

「ウイルスバスター クラウド™」はあとからでも使用を開始できます。



9 当社のサービス情報メール用アドレスを入力する

すでにメールアドレスを持っていて、当社からサービス情報メールを希望する場合は入力してください。

メールアドレスは間違えないよう、気をつけて入力してください。

メモ

- メールアドレスが間違っていると、メールでのご案内ができなくなります。[次へ]をタップする前に、もう一度ご確認ください。

メールアドレスをまだ持っていない、またはサービス情報メールを受け取りたくない場合は、何もしないで [次へ] をタップし、手順 **11** に進んでください。

当社からのサービス情報メールは、あとでメールアドレスを取得してから、お客様登録を行い、受け取ることもできます。

10 画面下部の [(2) メールアドレスのご利用目的] をタップして説明をよく読んでから① (もう一度タップすると、説明が消えます)、[メール送信に同意します。] の左にある をタップして にし②、[次へ] をタップする③

11 しばらくお待ちください

本製品の準備をしている画面が表示されるので、そのまま電源を切らずにお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かってスワイプしてください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して  をタップしてください。

Windows が起動します。

参照 ▶ 「ウイルスバスター クラウド™」の画面が表示された場合
『活用編 6章 **1** - **1** ウイルスバスター クラウド™でウイルスをチェックする』

参照 ▶ 「東芝サービスステーション」のメッセージが表示された場合
『活用編 1章 **2** 「東芝サービスステーション」について』

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。

お願い

- 本製品の使いかたの詳細は『オンラインマニュアル』をご覧ください。
- **リカバリーメディアを作成しましょう**
本製品にトラブルが発生したときに備えて、あらかじめ、リカバリーメディアを作成しておくことをおすすめします。
参照 ▶ リカバリーメディアの作りかた『活用編 1章 **4** リカバリーメディアを作る』
- **定期的にバックアップをとりましょう**
ファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- **Microsoft アカウントについて**
マイクロソフト社のサービスを利用したり、Officeのセットアップを行ったりするときに、Microsoft アカウントが必要な場合があります。
参照 ▶ Microsoft アカウント『活用編 6章 **3** Microsoft アカウントについて』

参照 ▶ 『活用編 1章 **3** Windows セットアップが終了したら』

1 電源を切る

本製品を使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 スリープについて『活用編 2章 1 - 4 スリープ』

警告

● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

・無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

①通知領域の  アイコンをタップする

②[機内モード] をタップして、ONに切り替える

ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。

・スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

・電源を切った状態で待機中でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

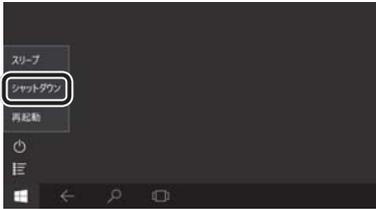
お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- 内蔵フラッシュメモリやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- 記録メディア保護のために、記録メディアを取りはずしてください。

次の手順で電源を切ります。

1 スタートメニューの [電源] アイコン () をタップする

2 [シャットダウン] をタップする



(表示例)

Windowsを終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。

メモ

- [スタート] ボタン () を長押しして、表示されるメニューから [シャットダウンまたはサインアウト] → [シャットダウン] をタップしても、電源を切ることができます。
- 電源スイッチを約2~9秒押しと、「スライドしてPCをシャットダウンします」という画面が表示されます。この画面を下に向かってスライドしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを10秒以上押しと、強制的に電源を切る (強制終了) ことができます。
強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になり、保存されていないデータは消失します。
- 電源が入っている状態で電源スイッチを短く押しと、画面表示がOFFになります。もう一度表示するには、電源スイッチを短く押ししてください。

お願い 電源を切ったあとは

- 本製品に接続している機器 (周辺機器) の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け/取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行うときは、以下の手順で電源を切ってください。
 - ① 通知領域の  アイコンをタップする
 - ② [すべての設定] をタップする
 - ③ [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
 - ④ [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
 - ⑤ [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

2 電源を入れる

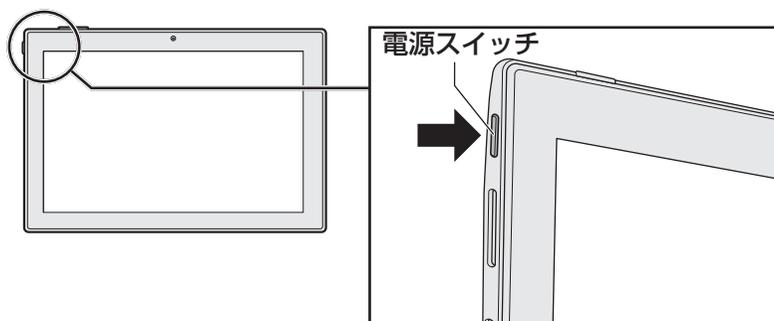
次の手順で電源を入れます。

お願い 電源を入れるときは

- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、本製品より先に周辺機器の電源を入れてください。
- ディスプレイ（画面）に触れたまま電源を入れしないでください。ディスプレイ（画面）が一時的に反応しない場合があります。

1 電源スイッチを押し、ロゴが表示されたら指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。



メモ

- 本製品のバッテリー充電量が足りない場合、電源スイッチを押しても電源が入りません（画面中央に、[バッテリー] アイコンに「！」が付いているものが表示されます。また、完全にバッテリーが空の状態では、画面に何も表示されません）。この場合は、本製品をコンセントに接続したまま、しばらくお待ちください。本製品のバッテリーが充電されますので、その後に電源スイッチを押してください。

Windows が起動します。

■ 各種パスワードを設定している場合

パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キー（) をタップしてください。

■ ロック画面が表示された場合

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かってスワイプしてください。次の画面に進みます。

■ 複数のユーザーで1台を使用している場合

表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、ユーザーを切り替えてください。



- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。
-

* デジタイザーペン付属モデルのみ

ここでは、デジタイザーペンを取り付け／取りはずす方法とポインタ位置調整について説明します。

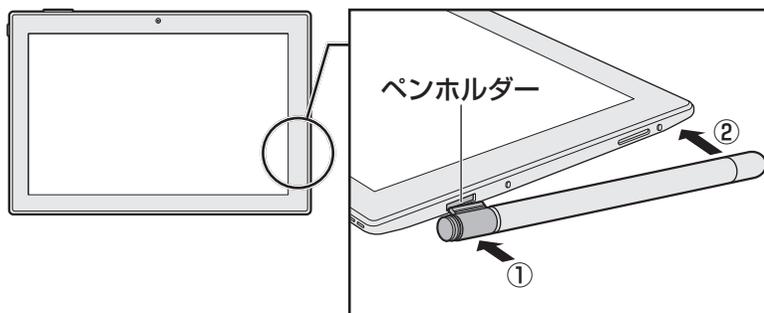
参照▶ デジタイザーペンの詳細について『活用編 2章 3 デジタイザーペンを使う』

1 デジタイザーペンの取り付け／取りはずし

デジタイザーペンは、本体のペンホルダーに装着できます。

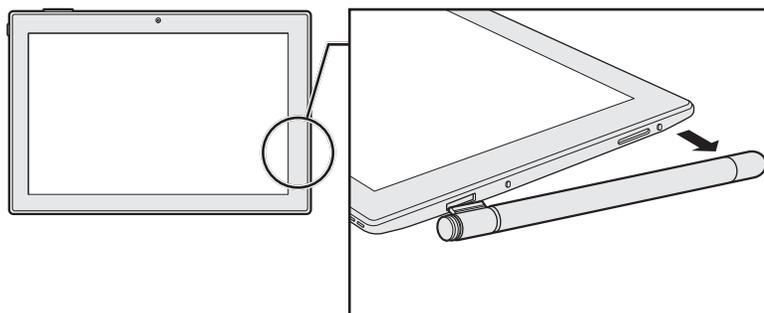
1 取り付け

- 1** デジタイザーペンの突起上部を斜めに差し込み①、デジタイザーペンの下部を本体側に押す②



2 取りはずし

- 1** デジタイザーペンの下部をゆっくりと矢印の方向に引く

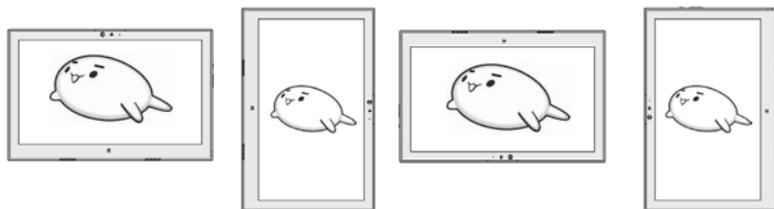


2 ポインタ位置調整について

デジタイザーペンは、製品ごとに最適化していただくことで、画面上のポインタをより正しい位置に表示することができます。

ご使用の前に、次の手順でポインタの表示位置を調整してください。

- ① 電源を入れる
- ② スタートメニューの左上の  をタップする
- ③ [すべてのアプリ] → [ワコムペン] をタップする
[ワコムペン] 画面が表示されます。
- ④ [調整開始] をタップする
調整が開始されます。
- ⑤ 画面に表示される◎の中央をペン先でタップする（4か所）
- ⑥ 位置調整が完了したら、[終了] をタップする
- ⑦ 画面表示の向きを90°回転させる
位置調整は縦横それぞれ4方向で行う必要があります。画面が回転したことを確認後、手順⑤～⑦の操作を繰り返します。画面表示を固定している場合は、通知領域の  アイコンをタップし、[すべての設定] → [システム] → [ディスプレイ] をタップして、[この画面の回転をロックする] を [オフ] にして設定を解除してください。



- ⑧ 4方向で位置調整が完了したら、[終了] をタップする
位置調整完了です。
- ⑨ [OK] をタップする
- ⑩ ポインタ位置とペン先がずれていないか確認する
画面をペン先でタッチし、ポインタ位置を確認してください。
位置がずれていた場合は、再度手順②から操作をやり直してください。

1

インターネットを使うには

インターネットを使うには、次のような流れで準備してください。

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

インターネットに接続するための回線機器と、本製品を接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照▶ 無線LANで接続する

「本節 **1** 無線LANで接続する」、
『活用編 3章 **2** 無線LANを使う』

ウイルスチェックソフトの利用を開始する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、本製品が使用できなくなることがありますので、あらかじめウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照▶ ウイルスチェックソフトについて「本章 **2** ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。

ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する

ウイルス定義ファイル（パターンファイル）を最新のものに更新してください。

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

メールの設定をする

メールを使う場合は、メールソフトの設定が必要です。

参照▶ 「本節 **2** メールを使用するために」
『メールソフトに付属している説明書』、メールソフトのヘルプ

設定完了



- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。

参照 日付と時刻の設定について
『活用編 8章 3 - 2 - Q 内蔵時計が合っていない』

1 無線LANで接続する

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の アイコンをタップする
 - ② [機内モード] をタップして、ONに切り替える
ONになると、通知領域に アイコンが表示されます。
 - ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「2章 12 - 6 無線LANについて」
- 『活用編 付録 2 デイリーケアとアフターケア』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
無線LANを使用する場合は、記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 通知領域の  アイコンをタップする

通知領域にアイコンが表示されていない場合は、次の手順で表示させてください。

- ① タスクバーを長押しする
- ② [すべての通知アイコンを表示] をタップしてチェックを付ける

2 [Wi-Fi] をタップして、ONに切り替える

ONにすると、[利用可能] (アイコンに色が付いた状態) となり、アクティブな状態になります。

参照 ▶ 以降の無線LANの設定『活用編 3章 **2** - **2** 無線LANを設定する』

2 メールを使用するために

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。

メールソフトには、Windowsのメール機能や、「Outlook 2016」*¹ があります。

* 1 Outlook 2016搭載モデルのみ

● Windowsのメール機能の起動方法

- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [メール] をタップする

Windowsのメール機能を使用するには、Microsoft アカウントが必要です。

Microsoft アカウントについては、タスクバーの [WebとWindowsを検索] () で、「Microsoft アカウント」と入力して検索してください。

● 「Outlook 2016」の起動方法

「Outlook 2016」を使用するには、インターネットに接続して、ライセンス認証を行ってください。

- ① スタートメニューの左上の  をタップ → [すべてのアプリ] → [Outlook 2016] をタップする

初めて「Office」を起動した場合は、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。また、初めて「Outlook 2016」を起動したときは、「Outlook 2016へようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2016」の使いかたについては、起動後、[ファイル] タブ → [Microsoft Outlook ヘルプ] ボタン () をタップして表示されるヘルプを参照してください。

 **メモ**

- メールの送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 ▶ ウィルスチェックソフトについて「本章 **2** ウィルス感染や不正アクセスを防ぐには」

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティー用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「本章 12 - 4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスから本製品を保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、「ウイルスバスター クラウド™」が用意されています。ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照▶ ウイルスバスター クラウド™について「本節 3 ウイルスバスター クラウド™によるウイルス対策」

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

・コンピューターウイルス

本製品に侵入し、本製品内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。

・スパイウェア

本製品に侵入し、本製品内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。

・有害サイト

お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。



メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター® 6.0」が用意されています。

参照▶ 「i-フィルター® 6.0」について「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスター クラウド™ によるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

参照 ▶ インストールについて『活用編 6章 1 - 1 体験版をインストールする』

「ウイルスバスター クラウド™」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- スパイウェアを検出して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- 個人情報の漏えいを防止する など

詳しくは、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

1 スタートメニューの左上の  をタップする

2 [すべてのアプリ] → [ウイルスバスター クラウド] → [ウイルスバスターの表示] をタップする

3 [ウイルスバスター クラウド™] 画面で [ヘルプ] ボタン ( ヘルプ) をタップする



(表示例)

[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。

参照 ▶ ウイルスバスター クラウド™のお問い合わせ先「2章 10 アプリケーションのお問い合わせ先」

3

有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。

有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター® 6.0」を使用することをおすすめします。

2章

インターネット／困ったときは

1 i-フィルター® 6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター® 6.0」が用意されています。「i-フィルター® 6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より30日間または90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

「i-フィルター® 6.0」の使いかたについては、『活用編 6章 **2** i-フィルター® 6.0を使う』をご確認ください。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2 『オンラインマニュアル』から探す

『オンラインマニュアル』内の『活用編』でも、本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについても説明しています。

スタートメニューの左上の☰をタップし、[すべてのアプリ] → [オンラインマニュアル] をタップして起動してください。

STEP3 サポートのサイトで調べる

東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」(<http://dynabook.com/>)へ接続すると、各種サポート情報から解決方法を探ることができます。

「dynabook.com」では、ご利用のパソコンの「よくあるご質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。

サポート窓口や修理についても案内しています。

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- **本体のトラブルの場合**
東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- **OSやアプリケーションのトラブルの場合**
OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
参照 ▶ お問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』
- **周辺機器のトラブルの場合**
参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

ここに掲載のQ&A集のほかに、『活用編 8章 本製品の動作がおかしいときは』にもQ&A集があります。目的の項目がないときは『オンラインマニュアル』内の『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるまで待ってください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。
そのままの状態、しばらく放置してください。
- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 電源スイッチを押し、ロゴが表示されたら指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。

参照 ▶ 「1章 3 Windows を使えるようにする」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブを内蔵フラッシュメモリ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次のように操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアと取り換える、または記録メディアを取り出す
- ② 電源スイッチを10秒以上押し続けて電源を切る
- ③ 音量大(+)ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続ける
[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ④ 起動したいドライブをタップする

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

Q しばらく操作しないと、電源が切れる

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A 自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間本製品を使用しないと、自動的にスリープになるように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを短く押してください。

2 画面／表示**Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった**

A 電源スイッチを10秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 **3** - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。電源スイッチを短く押すと表示が復帰します。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、本体ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』を参照して、本体ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった**A** テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。

テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない**A** 本体ディスプレイ（画面）を明るくしてください。^{*1}

次の手順で本体ディスプレイの輝度を調整することができます。^{*1}

- ① 通知領域の  アイコンをタップする
- ② [すべての設定] をタップする
- ③ [システム] → [ディスプレイ] → [明るさレベルの調整] のバーで輝度を調整する
画面の輝度を確認しながら、つまみを左右にドラッグして調整してください。

*1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A 本体ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。

詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。

次の手順で設定を変更してください。^{*1}

- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をタップする
- ③ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をタップする
- ④ [プラン設定の変更] をタップする
- ⑤ [プランの明るさを調整] を設定する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] をそれぞれ設定してください。
- ⑥ [変更の保存] ボタンをタップする

*1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

Q 画面表示が回転してしまった**A** 本製品を持ち上げて、表示したい方向に傾けて調節してください。

画面表示の向きは、ディスプレイの向きに合わせて自動的に回転する設定になっています。画面表示が回転しないように設定することもできます。

参照 『活用編 2章 4 - 2 画面の向きを設定する』

3 システム／内蔵フラッシュメモリ**Q** 本製品が応答しなくなった**A** アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照 再起動『活用編 2章 1 - 3 再起動』

- A** Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを 10 秒以上押して Windows を強制終了してください。
システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

- A** アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションが Windows の動作に影響している可能性があります。
アプリケーションをアンインストールしてください。

- A** 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器が Windows の動作に影響している可能性があります。
周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

- A** タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。
タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

Q 画面にタッチしても反応しない

- A** システムが処理中の可能性があります。
システム処理中は、操作を受け付けない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形 (○) になっています。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

- A** つめの先では操作できません。
指で操作してください。

- A** 手袋を着けたままでは操作できません。
手袋をはずして操作してください。

- A** 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。
水分をふき取ってから操作してください。

- A** デジタイザーペンの電池の残量が少なくなっている可能性があります。
* デジタイザーペン付属モデルのみ
乾電池を交換してください。

参照▶ 『活用編 2 章 3 デジタイザーペンを使う』

- A** 保護フィルムの種類や貼りかたによっては、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。
保護フィルムのご使用をおやめください。

5 メッセージ

Q 起動時に「*** RTC battery is low **** Press ENTER to set Date/Time.」
または「**** Date and Time reset to default **** Press [Enter] to
set Date and Time」と表示され、Windowsが起動しない

A バッテリーの充電量が不足しています。

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

- ① [Enter] をタップする
BIOSセットアップ画面が表示されます。
- ② [System Time] の時刻表示部分をタップする
時刻設定画面が表示されます。
- ③ 時間、分、秒を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[OK] ボタンをタップする
- ④ [System Date] の日付表示部分をタップする
日付設定画面が表示されます。
- ⑤ 月、日、年を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[OK] ボタンをタップする
- ⑥ [Save and Exit] をタップする
確認のメッセージが表示されます。
- ⑦ [YES] をタップする
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
本製品が再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について

『活用編 8章 3 - 2 - Q 内蔵時計が合っていない』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A 次のように操作してください。

- ① 電源ボタンを10秒以上押して、電源を切る
- ② システムが入っている記録メディアを取り出す
- ③ 再度電源スイッチを押す

上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を確認してください。

6 その他**Q** 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻せなくなったときは

A 内蔵フラッシュメモリに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

リカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーの操作方法「本章 **7** - **5** リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

Q 異常なおいや過熱に気づいた！

A 本製品、周辺機器の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してから東芝PCあんしんサポートに相談してください。なお、お問い合わせの際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「本章 **4** 困ったときは」

A 本体のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 **1** お問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

本製品の動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。

参照▶ ウイルスチェックソフト「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照▶ 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

『活用編 8章 本製品の動作がおかしいときは』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーを再インストールできる場合があります。

参照▶ 「本章 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照▶ 「本章 7 本製品を初期状態に戻す」
巻末の「リカバリーチェックシート」

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。内蔵フラッシュメモリ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- 内蔵フラッシュメモリにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

* 1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。

リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、注意してください。

1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

Windows のセットアップ 参照▶「1章 3 - 1 - 3 Windows のセットアップ」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』
『各機器に付属している説明書』

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照▶「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定

参照▶『活用編 3章 インターネットやネットワークに接続する』

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶『活用編 1章 使いはじめる前に』

東芝サービスステーションで
ソフトウェアのアップデート

参照▶『活用編 1章 使いはじめる前に』

メールの設定

参照▶「2章 1 - 2 メールを使用するために」

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶『アプリケーションに付属している説明書』

データの復元

参照▶「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末の「リカバリーチェックシート」をコピーしたもの

あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合は、次のものも準備してください。

- リカバリーメディア
- USBケーブル（市販品）*¹

* 1 リカバリーメディアからリカバリーする場合、市販のUSBケーブル（microUSBコネクタ対応タイプのもの）が必要です。ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

参照▶ USBケーブルについて『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、内蔵フラッシュメモリに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（microSDメモリカードなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、内蔵フラッシュメモリをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、内蔵フラッシュメモリに保存されていたデータは復元できません。

お願い バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモ리카ードなど）が、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照 『活用編 はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。ONになっていない場合は、ONに設定してください。

参照 『活用編 3章 2 無線LANを使う』

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常は内蔵フラッシュメモリからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、内蔵フラッシュメモリのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、内蔵フラッシュメモリからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

お願い

- バッテリーの消耗などによってリカバリーに失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照▶ 詳細について『活用編 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。

③ [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

④ [このPCを初期状態に戻す] をタップする

[このPCを初期状態に戻す] 画面が表示されます。

⑤ [すべて削除する] をタップする

本製品が再起動されます。

メモ

- [すべて削除する] を選択すると、個人用ファイル（ユーザー名など）や本製品にあらかじめインストールされている（プレインストールされている）アプリケーションなどが削除されます。
- [個人用ファイルを保持する] を選択すると、個人用ファイルと本製品にあらかじめインストールされているアプリケーションなどは残ります。

⑥ [ファイルの削除のみ行う] をタップする

⑦【初期状態に戻す】 ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑧ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windows セットアップ [1章 **3** - **1** - **3** Windowsのセットアップ]

5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

市販のUSBケーブル（microUSBコネクタ対応タイプのもの）を、本製品のmicroUSBコネクタに接続してください。

参照 ▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

* ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

お願い

- バッテリーの消耗などによってリカバリーに失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

メモ

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照 ▶ 詳細について『活用編 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

③ microUSBコネクタに、USBケーブルを接続し、USBコネクタにリカバリーメディア（USBフラッシュメモリ）をセットする

④ 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続ける

[Boot Menu] 画面が表示されます。

⑤ USBフラッシュメモリを示す項目（[USB] など）をタップする

[言語の選択] 画面が表示されます。

⑥ [日本語（日本）] をタップする

[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示されます。

- ⑦ [Microsoft IME] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。
- ⑧ [トラブルシューティング] をタップする
- ⑨ [このPCを初期状態に戻す] をタップする
[このPCを初期状態に戻す] 画面が表示されます。
- ⑩ [すべて削除する] をタップする

 メモ

- [すべて削除する] を選択すると、個人用ファイル（ユーザー名など）や本製品にあらかじめインストールされている（プレインストールされている）アプリケーションなどが削除されます。
- [個人用ファイルを保持する] を選択すると、個人用ファイルと本製品にあらかじめインストールされているアプリケーションなどは残ります。

- ⑪ [Windows 10] をタップする
- ⑫ [ファイルの削除のみ行う] をタップする
- ⑬ [初期状態に戻す] ボタンをタップする
画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。
- ⑭ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windows セットアップ [1章 3 - 1 - 3 Windowsのセットアップ]

6 本製品を初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について「本節 1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- Office 搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。
- 購入後にインストールした一部のアプリケーションやドライバーは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

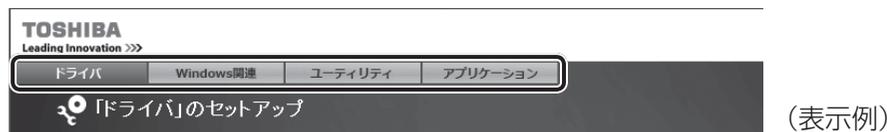
本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [アプリケーションの再インストール] をタップする
- ③ [セットアップ画面へ] をタップする
アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
- ④ タブをタップして、再インストールしたいアプリケーションを探す



画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをタップすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

- ⑤ 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [[XXX] のセットアップ] をタップする
「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をタップしてください。
- ⑥ 表示されるメッセージに従ってインストールを行う
「XXXXXX (ファイル名) をXXXXXXから開きますか?」というメッセージが表示された場合は、[開く] ボタンをタップしてください。

メモ

- [アプリケーションの再インストール] にないアプリケーションは、「Windowsストア」からダウンロードできる場合があります。

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、内蔵フラッシュメモリの内容を消去してください。

1 使用済みの本製品を廃棄する場合

【個人・家庭で本製品をご使用のお客様へ】

■PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンタへお申し込みください。

参照▶ PCリサイクルのご相談（個人）「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

■PCリサイクルマークがない場合

「PCリサイクルマーク」のない製品は、PCリサイクル対象に該当しません。お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

参照▶ PCリサイクルマーク「1章 **2** 各部の名称」

【企業で本製品をご使用のお客様へ】

参照▶ PCリサイクルのご相談（企業）「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

2 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の「ログイン」をタップする

「ログイン」画面が表示されます。

③ メールアドレスまたは東芝ID (TID) と、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをタップする

マイページが表示されます。

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝ID (TID) でログインしてください。

④ ページ右下の「退会」をタップする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048 を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048 会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、当社特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

参照▶ 技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ「**本章 11** サービス&サポートのご案内」

3 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する

本製品の内蔵フラッシュメモリ上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、内蔵フラッシュメモリに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

内蔵フラッシュメモリの内容を削除するには、内蔵フラッシュメモリの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

- 内蔵フラッシュメモリの内容を削除すると、内蔵フラッシュメモリ内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成
『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

お願い

- バッテリーの消耗などによって消去に失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

■ 内蔵フラッシュメモリの消去機能から行う方法

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照 詳細について『活用編 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。

③ [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

④ [TOSHIBA Maintenance Utility] をタップする

消去方法を選択する画面が表示されます。

⑤ 目的に合わせて、**【標準データの消去】** または **【機密データの消去】** をチェックし、**【次へ】** ボタンをタップする

通常は**【標準データの消去】** を選択してください。データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、**【機密データの消去】** を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

【データの消去を開始します。】画面が表示されます。

処理を中止する場合は、**【キャンセル】** ボタンをタップしてください。

⑥ **【次へ】** ボタンをタップする

消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑦ **【終了】** ボタンをタップする

■ **リカバリーメディアから行う方法**

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

市販のUSBケーブル（microUSBコネクタ対応タイプのもの）を、本製品のmicroUSBコネクタに接続してください。

参照▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

*ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

 **メモ**

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- **【キャンセル】** ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、**【オプションの選択】** 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、**【PCの電源を切る】** ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、**【キャンセル】** ボタンが表示されるまで操作を進めてから **【キャンセル】** ボタンをタップしてください。

① **【本章 7 - 5】** リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」の**手順①～⑨**を実行する

② **【すべて削除する】** をタップする

③ **【Windows 10】** をタップする

【このPCを初期状態に戻す】画面が表示されます。

消去するドライブを選択する画面が表示された場合は、**手順④**に進んでください。

それ以外は**手順⑤**に進んでください。

④ **【すべてのドライブ】** をタップする

⑤ **【ドライブを完全にクリーンアップ】** をタップする

⑥ **【初期状態に戻す】** ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

* 2016年1月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先については、『活用編 付録 1 お問い合わせ先』を参照してください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■ Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス

■ Office Personal Premium プラス Office 365 サービス

上記 Office 製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境および Microsoft アカウトでのサインインが必要になります。

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

マイクロソフト Answer Desk 窓口

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

サポート有効期間 : サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

<サポート Web サイト>

Office 製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記 Web サイトもご確認ください。

下記アドレスをワン ボックス (アドレスバー) に直接入力いただければ、Web サイトにアクセスできます。

● Office 製品情報 :

製品の機能や使い方などの製品情報

office.microsoft.com

● Microsoft アカウントについて :

Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては下記のサイトをご覧ください。

microsoft.com/ja-jp/msaccount

● Office 365 サービス :

Office 365 サービスの詳細や更新の方法は下記のサイトをご覧ください。

office.com/service

●マイ アカウント ページ:

Office 365 サービスの管理や再インストールは、初回のインストール時に作成したマイ アカウント ページから行うことができます。マイ アカウント ページにアクセスするには、インストールの際に使用した Microsoft アカウントが必要になります。

office.com/myaccount

●サポート情報:

製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。

office.com/jppipcsupport

■Excel 2016／OneNote 2016／Outlook 2016／PowerPoint 2016／Word 2016

マイクロソフト Answer Desk 窓口

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

●基本操作に関するお問い合わせ

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

●サポート有効期間: サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

■ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスター™ サービスセンター

受付時間 : 9:30～17:30

TEL : 0570-008326

03-6738-6062 (IP 電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

■ CyberLink Screen Recorder for TOSHIBA

サイバーリンクカスタマーサポート

受付時間 : 10:00～13:00、14:00～17:00 (土日祝日、休業日を除く)
 TEL : 0570-080-110 (ナビダイヤル)
 03-5205-7670 (PHS、IP電話ご使用の場合)
 ホームページ : <http://jp.cyberlink.com/support/index.html>
 (ウェブフォームからのお問い合わせは、ユーザー登録が必要です。)

■ i-フィルター® 6.0 (30日版)

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

受付時間 : 10:00～18:00
 (デジタルアーツ指定休業日を除く)
 TEL : 0570-00-1334
 E-mail : p-support@daj.co.jp
 ホームページ : 【お問い合わせTOP】 <http://www.daj.jp/cs/support/multidevice/>
 【お問い合わせフォーム】 http://www.daj.jp/ask_md/

月額版をお申し込みの場合、お申し込み初日が無償となります。

■ i-フィルター® 6.0 (90日版)

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

受付時間 : 10:00～18:00
 (デジタルアーツ指定休業日を除く)
 TEL : 0570-00-1334
 E-mail : p-support@daj.co.jp
 ホームページ : 【よくある質問】 <http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/>
 【お問い合わせフォーム】 <http://www.daj.jp/ask/>

■ 筆ぐるめ for TOSHIBA

筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)
 11月1日から12月30日までは無休
 (受付時間9:30～17:00 12/30のみ12:00まで)
 TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)
 03-5638-6139 (PHS、IP電話ご使用の場合)
 E-mail : users@fsi.co.jp
 ホームページ : <http://fudegurume.jp/>

11

サービス&サポートのご案内

「東芝PCサポートページ」 <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2016年4月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

2章

インターネット／困ったときは

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	PCオンライン	FAQ	訪問サポート		
夜間（18:00～24:00）に電話サポートを利用したい			サポート予約			
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PCオンライン	FAQ			
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約			
故障かどうか調べたい	修理		FAQ		PC工房	
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair			PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい						
海外から修理を依頼したい						
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ			
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート		
本製品の調子が悪いので、本製品を預けて点検してほしい	点検		点検			
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート		
本製品の中からデータを救出してほしい	データ復旧				PC工房	
対面窓口で修理の相談をしたい（本製品持ち込み）						
短期間で修理してほしい						
本製品の設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート		
マンツーマンでレッスンを受けたい						

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談						
お客様登録をしたい						
取扱説明書を購入したい						
電源コードを購入したい						
ACアダプターを購入したい						
メモリを購入したい* ¹						
バッテリーパック搭載モデルの場合、 バッテリーパックを購入したい* ²						
バッテリーパック内蔵モデルの場合、 バッテリーパックの交換を依頼したい* ²						
保証期間を延長したい						
使用済み本製品の回収・リサイクルのご相談						
不要になった本製品を廃棄したい（個人）						
不要になった本製品を廃棄したい（企業）						

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

参照▶ 「1章 2 各部の名称」の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルについては、『dynabook * * * *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■ お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

1. ご使用の製品の型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、画面に表示される「東芝PCシステム情報」、または本体背面／側面などの表示でご確認いただけます。

「東芝PCシステム情報」は次の手順で起動します。

● タブレットモードがONの場合

① スタートメニューの左上の をタップ→② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] をタップ→③ [PCシステム情報] をタップします。

● タブレットモードがOFFの場合

① [スタート] ボタン () をタップ→② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をタップします。

参照▶ タブレットモードの詳細「はじめに- 6 本書の記載について」

2. どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？
3. その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
5. 事前にお客様登録  (<http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048>) をおすすめします。

2章

インターネット／困ったときは

■ 各問い合わせ先について *電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

使いかた相談 **東芝PC あんしんサポート 使いかた相談窓口**

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
使いかた相談窓口のご利用には、東芝ID (TID) へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 **3** お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいた上でサービスを提供させていただきます。
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
3. お電話いただく際、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] 0120-97-1048（フリーダイヤル：通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（ナビダイヤル：通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（年中無休）

サポート予約

電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯（18:00～24:00）に、東芝PC あんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

1. サービスのご利用前（予約前）に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
電話サポート予約サービスのご利用には、東芝ID (TID) へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 **3** お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。

ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。

- ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）
- 詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。

遠隔支援
サービス

遠隔支援サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

修理

東芝PC集中修理センタ（東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口）

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] 0120-97-1048（フリーダイヤル：通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（ナビダイヤル：通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（休業日：12/31～1/3）

PC
i-repair

東芝PC集中修理センタ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本間に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認（携帯からアクセス可能）

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は

東芝クライアントソリューション株式会社（2016年4月1日以降）

<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

**ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

PC工房

東芝PC工房

お持ち込みでの直接診断や修理のご依頼、保証期間の延長のお申し込みはこちらへ。

また、ご予約いただき1日で修理を行うサービス「1Day・プレミアム・リペア・サービス」もこちらへ。

※修理は国内モデルのみ受け付けます。

※故障内容によっては、対応できない場合があります。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pk.htm>

電話番号：03-3252-6274（通話料お客様負担）

電話受付：10:00～12:00 13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7 ソフト99ビル2F

営業時間：10:00～18:30

購入
窓口**電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>

取扱
説明書**東芝PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm>

FAQ

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

PC
オンライン**Web（インターネット）を使ってご相談**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>

サービスのご利用前に、お買い上げの製品を東芝ID（TID）にご登録ください。

参照 東芝ID（TID）への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

リサイクル
個人

PCリサイクルのご相談（個人）

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み東芝パソコンを廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



リサイクル

<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：東芝dynabookリサイクルセンター

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（東芝パソコン）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

「PCリサイクルマーク」のない製品は、PCリサイクル対象に該当しません。お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

参照 ▶ PCリサイクルマーク「1章 2 各部の名称」

リサイクル
企業

PCリサイクルのご相談（企業） 東芝IT機器リサイクルセンター

電話番号：044-555-1214

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：044-555-1213（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検

あんしん点検（有料）の申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃や、ウイルスに感染していないかの点検を行います。

有料
サポート

有料のPC遠隔レッスンサービス/PC遠隔代行サービス/東芝PC延長保証サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

- ・PC遠隔レッスンサービス
個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。
- ・PC遠隔代行サービス
周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。
- ・東芝PC延長保証サービス

2章

インターネット／困ったときは

データ
復旧

データ復旧サービスのご案内

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きる内蔵フラッシュメモリ故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

データ復旧サービス

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

東芝クライアントソリューション株式会社（2016年4月1日以降）

●個人のお客様

電話番号：03-3252-7081（通話料お客様負担）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

●企業のお客様

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート

東芝PC訪問サポート（有料）*個人のお客様向け

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、本製品の接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）



バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

- バッテリーパック交換（個人）
東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。

ILW 制限事項・注意事項 (2016年4月現在)

最新版はホームページに記載しております。

<http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm>

■ 制限事項

1. 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービス）が異なります。
2. 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の株式会社東芝の関連会社ではお取り扱いしていません。
3. 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
4. 現地では日本語でのご対応はできません。その現地の言語での対応となります。
5. ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
6. ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、東芝PCあんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
7. プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、本製品の往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
8. 海外でご使用になれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信 [ワイヤレスWAN] 機能など）は、ILW対象外となります。
9. お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
また、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。
10. 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
11. 中国での現地修理サービスでは、修理本製品のピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
12. お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
13. ILW対象外の修理については、地域によっては有料で、日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービスをご利用いただけます。有料修理の場合、本製品の往復輸送費等はお客様のご負担となります。
なお、有料修理は、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
14. ILW対象地域域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、東芝PCあんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
15. 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。本製品をお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやお客様のデータは、消去されます。また、近年、盗難が多発しておりますので、本製品を輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にとまなう本製品内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■ 注意事項

1. ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
2. 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
3. 地域によっては、本製品使用時、周辺環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
4. 電源コードは国内専用です。海外で本製品を使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合したケーブルを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

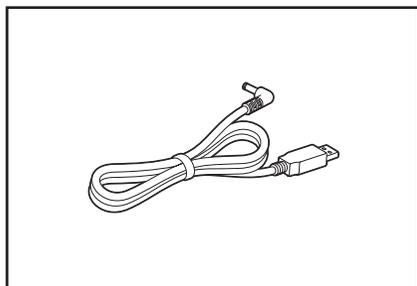
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

2 本体ディスプレイについて

- 画面を強く押さないでください。
- 画面は指または付属のデジタイザーペンで操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。
- 画面に保護フィルムを貼った場合、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。
- 画面上に物を置かないでください。

3 電源コードの取り扱いについて

- 電源コードは束ねずに、ほどこいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。電源コードは、購入されたモデルにより異なります。



4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスター クラウド™のセキュリティ機能について
「ウイルスバスター クラウド™」のヘルプ

5 バッテリーについて

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。本製品は5～35℃の室温で充電してください。

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「PC用バッテリー関連Q&A」について
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>

バッテリーを使用するにあたって

バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの充電量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、作業中の内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。バッテリーを使い切る前に、電源コードとACアダプターをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。
なお、バッテリー駆動での使用時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

6 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物で本製品を覆わないようにしてください。
また、無線LANアクセスポイントと本製品との間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。
- ▶ **参照** 『活用編 付録 9 無線LAN／Bluetooth®について』
- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

7 GPSについて

- GPS機能搭載モデルでは、GPSが使用できません。
- GPSや測定場所の状態により、現在地が表示できない可能性があります。現在地の情報は、端末側から位置情報を得ており、その情報の精度によって現在地が検出できない可能性があります。具体的には、以下のような場所や状態では、現在地がずれたり、検出できない可能性があります。
 - ・ 建物の中や直下
 - ・ かばんや箱の中
 - ・ 密集した樹木の中
 - ・ アンテナ前面部に障害物（人や物）がある場合
 - ・ 地下やトンネル、地中、水中
 - ・ ビル街や住宅密集地
 - ・ 高圧線の近く
 - ・ 大雨、雪などの悪天

8 コンパスセンサーについて

- コンパスセンサー搭載モデルでは、電子コンパスが使用できません。
 - 電車や自動車の車内、ビルの内部や周辺など使用環境によっては、方位を正確に検出できない場合があります。
- コンパスセンサーをご使用の場合は、これらの場所を避けてください。

9 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『活用編 付録 8 技術基準適合について』に記載されています。

- 電波障害自主規制について
- EU Declaration of Conformityについて
- 「FCC information」について

リカバリーチェックシート

本製品のリカバリーを行う際は、次の説明をお読みにになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照▶ 各項目の詳細 2章の **6**～**8**

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	「2章 4 困ったときは」『活用編 9章 1 トラブルを解消するまでの流れ』をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、本製品を以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの『取扱説明書』（本書） リカバリーチェックシート（本シート）
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの [お気に入り] のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を ウイルスチェックソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	確認する インターネット、Windows サインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであるかを確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす

3 リカバリーの実行と、その後にする事

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - ・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
- 東芝PC あんしんサポートにお問い合わせください。

S80シリーズ

 **取扱説明書**

平成28年4月15日

第1版発行

GM9041007220

発行 東芝クライアントソリューション株式会社

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)